

☆ 世 界

綿 花 2016/17 年、消費が生産を上回る見通し

国際綿花諮問委員会 (ICAC) によると、2015/16 年は、需要が生産を上回り、世界の期末在庫は、前年比 13%減の 1,950 万トと推定される。2016/17 年も引き続き消費が生産を上回り(140 万ほど上回る)、それにより期末在庫は 7%減の 1,810 万トとなる見通し。中国以外の期末在庫は、2015/16 年は 11%減となったが、2016/17 年は 1%増の 830 万トと予想される。ただしその在庫率に変化はない。一方で、中国政府が備蓄放出を続けるため、2016/17 年の中国の期末在庫は 13%減の 990 万トと見込まれる。8 月末までに、中国政府が国家備蓄から 200 万トを放出したため、900 万ト超まで減った。

世界の 2016/17 年の綿花生産は、6%増の 2,250 万トとなる見通し。

- ・インド…例年よりも遅いモンスーンや害虫被害により農家が影響を受け、作付面積は 6%減の 1,120 万畝と見込まれる。一方で十分な雨量により、平均イールドは 8%増の 521kg/畝となる見込みであり、生産は 2%増の 580 万トと予想される。
- ・中国…作付面積は 7%減の 290 万畝の予想だが、生育シーズン中に天候に恵まれれば、平均イールドは 4%増の 1,623kg/畝となる見通しで。生産は 3%減の 470 万トとなると見られる。
- ・米国…作付面積は 10%増の 360 万畝の予想。平均イールドは、天候に恵まれて十分な雨量を得られれば 8%増の 929kg/畝となる見通し。生産は 19%増の 330 万トと見込まれる。
- ・パキスタン…2015/16 年に不十分なイールドと価格に悩まされた農家は、2016/17 年は栽培に消極的になると見込まれ、作付面積は 5%減の 270 万畝と予想される。しかしながら、平均イールドは 27%増の 669kg/畝となる見通しで、生産は 20%増の 180 万トとなる見込み。
- ・アフリカ(フランス語圏)…今夏は天候に恵まれたため、作付は 10%増の 290 万畝となった。平均イールドは 4%増の 385kg/畝、生産は 14%増の 110 万トと予想される。

世界の 2016/17 年の綿花消費は、2,380 万トと横ばいの見通し。中国は 3%減の 710 万トと予想されるものの、消費は世界最大となる。インドは、530 万トと横ばいが予想される。パキスタンは、2015/16 年は 9%減となったが、2016/17 年は 1%増の 230 万トと回復が見込まれる。トルコは横ばいの 145 万ト、バングラデシュは 12%増の 120 万トとなる見込み。

上位輸出国の多くで、変わらぬ需要と生産増により、世界の貿易量は3%増の750万トに増加すると見込まれる。バングラデシュの輸入が12%増の120万トとなり、世界最大の輸入国となる予想。ベトナムは12%増の110万トの見込み。中国の輸入は、2万ト増の98万トとなり、引き続き消費が生産を大きく上回る見通しである。米国の輸出は27%増の250万トと予想される。インドの輸出は、堅調な国内需要と生産減により、32%減の84万6,000トとなる見込み。

世界の綿花需給見通し

(100万ト)

	2014/15	2015/16	2016/17
生産	26.19	21.19	22.45
消費	24.20	23.85	23.81
輸入	7.57	7.21	7.49
輸出	7.72	7.36	7.49
期末在庫	22.32	19.50	18.14
価格*	71	70*	75*

*Cotlook A インデックス(セント/ポンド)価格は、中国を除く世界の在庫率の見通し、中国の綿花輸入見通しをもとに推計した。